

逗子市の子育てを取り巻く現状

参考:「健やか親子 21」

1. 妊産婦の保健・医療提供体制
2. 産後うつ
(1)産後 1 か月時点での産後うつの高リスク者の割合 (2)産後ケア事業の利用率
3. 低出生体重児
(1)BMI18.5 未満の 20～30 歳の女性の割合 (2)妊婦の喫煙率・妊娠中のパートナーの喫煙率
(3)妊産婦の歯科保健・保健指導実施率
4. 流産・死産
流産・死産をされた方の情報
5. 小児の保健・医療提供体制
(1)小児医療費の減少 (2)かかりつけ医をもっているこどもの割合
(3)乳幼児健康診査後のフォロー体制
6. 乳幼児の口腔
(1)むし歯のない3歳児の割合(かかりつけ医をもっている子どもの割合)
(2)保護者がこどもの仕上げみがきをしている割合
7. 子どもの生活習慣(学童期・思春期)
(1)児童・生徒における痩身傾向児の割合・
(2)肥満児の割合・朝食を欠食するこどもの割合 (3)1 週間の運動時間
8. こどもの心の健康
(1)十代の自殺死亡率 (2)スクールカウンセラーを配置している小学校・中学校・高校の割合
9. プレコンセプションケア
(1)十代の人工妊娠中絶率 (2)十代性感染症罹患率
10. 児童虐待
11. ソーシャルキャピタル
12. 父親支援

1. 妊産婦の保健・医療提供体制

○妊娠届出数・高齢妊婦(35歳以上の初産婦)数※(人)・高齢妊婦数割合(%)

4～5人に1人の割合で高齢妊婦がいます。

	R1	R2	R3	R4	R5
妊娠届出数	360	346	322	292	253
高齢妊婦	72	73	63	71	47
高齢妊婦の割合(%)	20.0	21.1	19.6	24.3	18.6

○妊娠届出時の高齢妊婦数の内訳(人)

高齢妊婦のうち、60～80%が初産婦です。

	R1	R2	R3	R4	R5
高齢初産	54	57	49	55	28
高齢経産	18	16	14	16	19
計	72	73	63	71	47

○妊娠届出時の若年妊婦(20歳未満の妊婦)数の内訳(人)

年度当たり数人が若年妊婦です。

R1	R2	R3	R4	R5
5	2	2	1	1

○多子(人) ※子ども5人以上

年度当たり数人が多子妊婦です。

R1	R2	R3	R4	R5
5	2	2	1	1

○妊娠届出時の不妊治療者の内訳(人)・割合(%)

年度当たり8～5人に1人が不妊治療者です。

	R1	R2	R3	R4	R5
不妊治療後の妊娠	45	58	50	62	49
妊娠届出数	360	346	322	292	253
不妊治療の割合(%)	12.5	16.8	15.5	21.2	19.4

○妊産婦死亡率(出産 10 万対)

神奈川県の妊産婦死亡率は令和2年以降いずれも全国平均を上回っています。

	R1		R2		R3		R4	
	死亡率	人数	死亡率	人数	死亡率	人数	死亡率	人数
全国	0.9	—	0.8	—	0.8	—	0.8	—
神奈川	1	30	0.8	22	0.8	23	1	38

出典 厚生労働省 人口動態調査

(出生千対)

○新生児死亡率

神奈川県の新生児死亡率は平成 26 年以降横ばい傾向にありますが、全国と比較すると同率または高い傾向にあります。

	R1		R2		R3		R4	
	死亡率	人数	死亡率	人数	死亡率	人数	死亡率	人数
全国	3.3	29	2.7	23	2.5	21	4.2	33
神奈川	1.5	1	4.8	3	3.3	2	6.9	4

出典 厚生労働省 人口動態調査

(出産10万対)

○妊娠 11 週以内での妊娠届出率(人)

約 95%の妊婦が11週以前の妊娠週数の早い段階で保健師や看護師の面談につながっています。妊娠届出時には妊産婦健康診査補助券の交付と定期的な妊婦健診の受診勧奨、出産応援ギフトの支給手続き等を行っています。

交付週数	R1	R2	R3	R4	R5
11 週以前	342(95.3%)	336(97.1%)	304(94.7%)	283(95.3%)	239(94.5%)
12～23 週	9(2.5%)	6(1.7%)	11(3.4%)	7(2.4%)	5(2.0%)
24～35 週	4(1.1%)	2(0.6%)	2(0.6%)	0(0.0%)	1(0.4%)
未入力	4(1.1%)	2(0.6%)	4(1.2%)	7(2.4%)	8(3.2%)
合計(延)	359	346	321	297	253

○こんにちは赤ちゃん訪問実施件数(件)

コロナ禍では、訪問拒否者が増えています。本市は転入世帯が多い為、市外の帰り出産が一定数あり、未実施が一定数あります。※依頼があった場合、里帰り先に赤ちゃん訪問を依頼しています。

	R1	R2	R3	R4	R5
新生児・乳児訪問	330	303	324	297	259
未実施	10	25	24	26	14

○母乳・授乳相談数(件)

赤ちゃんの体重の増えや、母乳やミルクのあげ方の相談などが一定数あります。継続相談の方もいらっしゃいます。

	R1	R2	R3	R4	R5
乳児	72	77	85	82	89
幼児	9	8	7	3	1
計	81	85	92	85	90

○妊婦・こども栄養相談(件) R5年度より開始

母乳授乳相談から、離乳食の相談に移行する人がおり、また一定数の離乳食の相談者がいるため、管理栄養士による相談を、令和5年度より開始しました。思春期のやせ、妊娠期の体重増加などの相談もお受けしています。

	R1	R2	R3	R4	R5
乳児					78
幼児					21
計					99

○離乳食教室(回・人)

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	年5回(10回)	年5回(10回)	年6回(11回)	年6回(12回)	年6回(12回)
参加者数(人)	99	93	88	98	156

※令和1年度、2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点より各2回中止

- ・令和4年度より離乳食初期についての動画「初めての離乳食」、令和5年度より「離乳食中・後期」について動画配信開始
- ・令和5年度より、午前の部：離乳食初期 午後の部：離乳食中・後期教室開始

2. 産後うつ

心の相談歴、精神科受診、望まない妊娠、EPDS 高値等の情報は、妊娠届所で把握します。(自己申告で記載した人のみの把握)この記載がある場合、継続的に支援できるよう、妊娠期から、出産後も、継続して地区担当保健師が担当することとしています。

○妊娠届け出時の心の相談歴ありの妊婦(人)

R1	R2	R3	R4	R5
15	12	9	14	4

○妊娠届け出時の精神科受診(人)

R1	R2	R3	R4	R5
25	15	19	10	15

○望まない妊娠(人)

R1	R2	R3	R4	R5
21	12	11	9	11

○産後 EPDS 高値者※の数(人)

	R1	R2	R3	R4	R5
高値者(人)	20	9	13	21	11
出生数	334	325	329	293	263
全体に占める割合(%)	6.0	2.8	4.0	7.2	4.2

※EPDS(エジンバラ産後うつ病質問票:Edinburgh Postnatal Depression Scale):

イギリスの精神科医 John Cox らによって産後うつ病のスクリーニングを目的として作られた 10 項目の質問票。9 点以上をハイリスク者とします。

質問内容: 1)笑うことができたし、物事のおかしい面もわかった 2)物事を楽しみにして待った 3)物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた 4)はっきりした理由もないのに不安になったり、心配した 5)はっきりした理由もないのに恐怖に襲われた 6)することがたくさんあって大変だった 7)不幸せなので、眠りにくかった 8)悲しくなったり、惨めになった 9)不幸せなので、泣けてきた 10)自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた

○産後ケアの利用者数(人)

産後ケア事業は令和元年の開始以降利用者数が増加傾向にあります。

産後ケア事業の利用目的は、家族支援不十分、育児不安、疲労、乳房トラブル、育児技術取得希望等がありますが、利用目的が 2 つ以上のことが多いです。

令和 5 年度の利用者全員が宿泊型を初回 1 泊2日以上利用しています。また、産後ケア事業の利用申請が 2 回以上の利用者では、EPDS 高値の産婦が約半数でした。

・利用者数(人)

	R1	R2	R3	R4	R5
宿泊型	1	7	10	10	17
通所型	2	2	3	2	8
訪問型				5	5

・通算利用日数(日)

	R1	R2	R3	R4	R5
宿泊型	6	46	38	40	78
通所型	9	2	7	4	15
訪問型				5	10

※訪問型は令和4年4月から開始

3. 低出生体重児

○全出生数中の低出生体重児の割合

9～12人に1人の割合で低出生体重児がいます。

	R1	R2	R3	R4	R5
低出生体重児 (2500g未満)	27	26	27	40	18
極小低出生体重児 (1500g未満)	3	2	7	0	1
超低出生体重児 (1000g未満)	2	0	2	0	2
低出生体重児合計(人)	32	28	36	40	21
全体の出生数(人)	343	325	328	297	257
全出生数に占める低出生 体重児の割合(%)	9.3	8.6	11.0	13.5	8.2

○妊婦のBMI(人)

やせは5～6人に1人、肥満妊婦は4～5人に1人の割合です。

	R1	R2	R3	R4	R5
18.5未満(やせ)	56(15.6%)	51(14.7%)	61(19.0%)	49(16.5%)	46(18.2%)
18.6～25.0(ふつう)	267(74.4%)	262(75.7%)	231(72.0%)	215(72.4%)	189(74.7%)
25.0以上(肥満)	24(6.7%)	21(6.1%)	17(5.3%)	19(6.4%)	16(6.3%)
未記載	12	12	12	14	2
妊娠届出数(延べ)	359	346	321	297	253

○妊婦の喫煙率(人)

	R1	R2	R3	R4	R5
妊婦	8	4	9	1	7
妊娠届出者数	359	346	321	297	253
妊婦喫煙率(%)	2.2	1.2	2.8	0.3	2.8

○妊娠中のパートナーの喫煙率(人)

妊婦の喫煙率は毎年度若干名で推移しますが、パートナーの喫煙率は4～6人に1人の割合です。

対象者には、禁煙に関する案内(冊子、医療機関リスト等)を個別配付しています。

	R1	R2	R3	R4	R5
パートナー	74	78	79	50	52
妊娠届出者数	359	346	321	297	253
喫煙率(%)	20.6	22.5	24.6	16.8	20.6

4. 流産・死産

妊娠届け出者数の減少に伴い、死産・流産の数も減っています。

死産の届け出があった場合は、全員に産婦が使えるサービスやピアグループの案内を配付しています。

	R1	R2	R3	R4	R5
死産・流産	20	14	13	19	6
妊娠届け出者数 (人)	360	346	322	298	253
妊娠届け出者数 に占める流産・死 産数の割合(%)	5.6	4.0	4.0	6.4	2.4

5. 小児の保健・医療提供体制

本市では令和5年度より0歳から 18 歳までのすべての方の保険診療にかかる医療費助成を開始しています。

〇かかりつけ医をもっているこどもの割合(3 歳児健診問診票より)

10人中7～8人の子どもがかかりつけ医をもっています。

	R1	R2	R3	R4	R5
はい	283	274	332	307	279
いいえ	16	21	22	21	18
何とも言えない	31	33	40	27	30
未記載	19	33	5	1	4
かかりつけ医を もっている割合 (%)	81.1	75.9	83.2	86.2	84.3

〇乳児健診の実施状況

年度	4 か月児健診				お誕生日前健診			
	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	要精検 (人)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	要精検 (人)
R1	305	299	98.0	3	347	323	93.1	0
R2	362	349	96.4	4	367	368	100.3	0
R3	333	327	98.2	2	328	314	95.7	0
R4	317	315	99.4	0	332	322	97.0	1
R5	270	258	95.6	3	300	290	96.7	1
計	1587	1548	97.5	12	1674	1617	96.6	2

○幼児健診の実施状況

年度	1歳6か月児健診				3歳児健診			
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（％）	要精検（人）	対象者（人）	受診者（人）	受診率（％）	要精検（人）
R1	324	313	96.6	3	359	349	97.2	1
R2	387	357	92.2	1	379	358	94.5	4
R3	318	341	107.2	2	413	393	95.2	1
R4	342	319	93.3	0	380	350	92.1	0
R5	331	330	99.7	0	326	328	100.6	1
計	1702	1660	97.5	6	1857	1778	95.7	7

○乳幼児健康診査後のフォロー体制

1～2名の要精密検査者の内訳は、全体的な運動発達の精査が必要と判断されたもの、尿検査再検査にて要観察が必要となったものです。専門の医療機関にて継続フォローが受けられるよう紹介状を作成し受診勧奨をしています。

経過健診開催状況

	R1	R2	R3	R4	R5
開催(回)		6	7	4	6
実人数		8	7	5	7
問題なし(件)		6	5	4	6
要精検(件)		2	2	1	1

※令和元年度は集計方法が異なり差異のため記載せず。

6. 乳幼児の口腔

1歳6か月児健診(乳歯)の場合、う蝕率が低いのに対し、3歳児健診(※)ではう蝕率が増加していることが分かります。

※2歳半～3歳児くらいまでに、20本の乳歯が生えそろいます。

○幼児健診の実施う蝕率(%)—1歳6か月児健診

年度	1歳6か月児健診				
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（％）	う蝕あり（人）	う蝕率（％）
R1	324	313	96.6	0	0.0
R2	387	357	92.2	1	0.3
R3	318	341	107.2	4	1.2
R4	342	319	93.3	2	0.6
R5	331	330	99.7	0	0.0
計	1702	1660	97.5	7	0.4

○幼児健診の実施う蝕率(%)—3歳児健診

	3歳児健診				
項目 年度	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	う蝕あり (人)	う蝕率 (%)
R1	359	349	97.2	31	8.9
R2	379	358	94.5	23	6.4
R3	413	393	95.2	22	5.6
R4	380	351	92.4	28	8.0
R5	326	328	100.6	21	6.4
計	1857	1779	95.8	125	7.0

○訪問歯科相談 受検者数(在宅療養者等口腔ケア推進事業)

病気や障がいにより在宅療養中で、外出が困難なお子さんに対して、鎌倉保健福祉事務所の歯科医師、歯科衛生士と、市の地区担当保健師がご家庭に訪問しています。歯やお口に関する相談、お口のお手入れや機能改善・維持のための方法を歯科専門職アドバイスします。

成長に伴いかかりつけ歯科医につながったり、障がい児・者歯科診療につながるなどした場合、訪問が終了となります。

・受診者数(件)

年度	実人数		継続	延人数
	新規	年度新規		
R1	0	2	3	5
R2	3	1	7	11
R3	5	4	13	22
R4	1	8	11	20
R5	0	3	4	7

・実施内容(件)

年度	口腔内診査		歯科予防処置		摂食指導	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R1	1	3	1	3	1	2
R2	2	5	2	4	3	7
R3	8	16	2	5	8	17
R4	5	11	2	6	7	15
R5	3	6	2	5	1	2

7. 子どもの生活習慣

・朝食の摂取状況は、朝食を毎日食べる者の割合

→男子の9歳・17歳と女子の14歳・17歳を除き、男女とも年齢が上がるにつれて減少する傾向にあります。

・運動・スポーツの実施状況

→週3日以上の方が各年齢で女子よりも男子の方が高い傾向にあります。運動を全くしていない割合は、男女ともに7歳以降減少していきませんが、男女ともに10歳以降は、男子の13歳を除き増加していきます。

・運動・スポーツの実施時間

→1日に2時間以上運動する者の割合が、男女ともに13歳で最も高く、1日に30分未満の者の割合が、女子の18歳を除き、男女ともに14歳以降増加傾向にあります。

小学校入学前の運動実施状況(小学生年代)

→週6日以上、外で身体を動かす遊びをしている割合が、女子よりも男子の方が高くなっています。
(令和5年度神奈川県 児童生徒体力・運動能力調査報告書より)

8. こどもの心の健康

・市内全ての公立小学校・中学校・高校にはスクールカウンセラーが定期的に巡回しています。

・自傷傾向、自殺企図など、心の相談がある場合、適宜学校や児童相談所、家族や本人と話し合いながら、受診先や対処法などについて、話し合う、間接的な助言などを実施しています(子育て支援課)

十代の自殺死亡率

神奈川県の令和5年における年齢階級別の自殺者割合からは、20歳未満は41人(全体の3%)です。
(令和5年における神奈川県の自殺者の状況より)

子どもの心理的な状態(1) 情緒の問題 中学生票問 15 より ※%は「あてはまる」と「まああてはまる」の合計割合

・私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。(44.9%)

・私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。(51.9%)

・私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。(45.3%)

・私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。(72.8%)

・私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。(43.6%)

全国調査と比較すると、[私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。]を除き、すべての項目で神奈川県が上回る結果となっている。

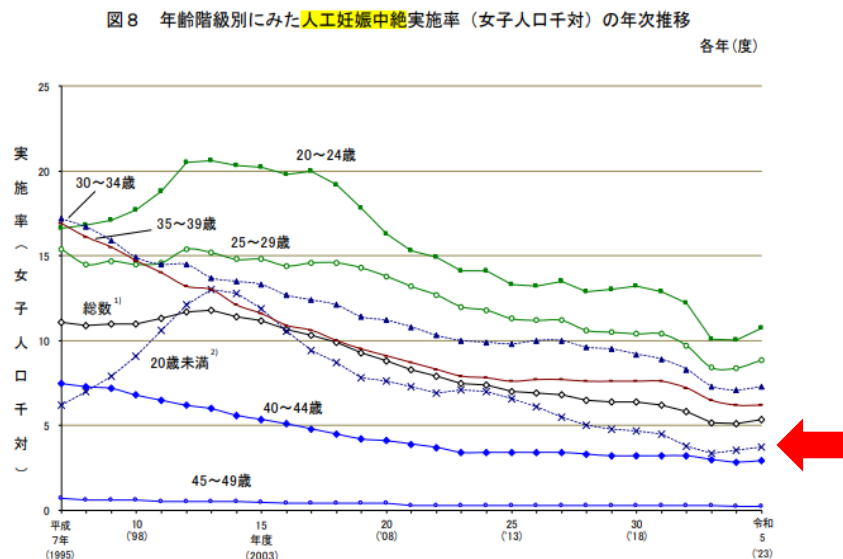
(令和5年度神奈川県 児童生徒体力・運動能力調査報告書より)

9. プレコンセプションケア

○十代の人工妊娠中絶率

国のデータでは、人工妊娠中絶の全体の総数は減ってきています。しかし、令和3年頃から、20 歳未満を含めた全ての年代で、再度増加し始めています。

令和5年度衛生行政報告例の概況



○十代性感染症罹患率

性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症についての報告数は、神奈川県は全国と比べると全体的に少ないですが、年齢別では男女ともに 20 歳代から40歳代を中心に報告が出ています。梅毒については令和元年度以降、報告数が男女ともに増加傾向にあります。先天梅毒(母子感染)のリスクも高まるため、正しい対応や予防策を理解できるよう啓発に努める必要があります。

(出典:神奈川県衛生研究所 神奈川県の感染症)

https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/005_databox/0512_kansensyo/R05/kanagawa_kansenR05.pdf

10. 児童虐待

○各年度内新規受理ケースの内訳

(件)

内容 \ 年度	R1	R2	R3	R4	R5
身体的	1	4	0	2	4
心理的	12	23	2	2	2
ネグレクト	2	1	2	8	3
性的	0	0	0	0	0
特定妊婦※			4	0	0
その他/要支援	7	20	17	23	32
合計	22	48	25	35	41

※ R3年度より特定妊婦の内訳が追加されています。

○虐待を除いた子ども相談の内訳

(件)

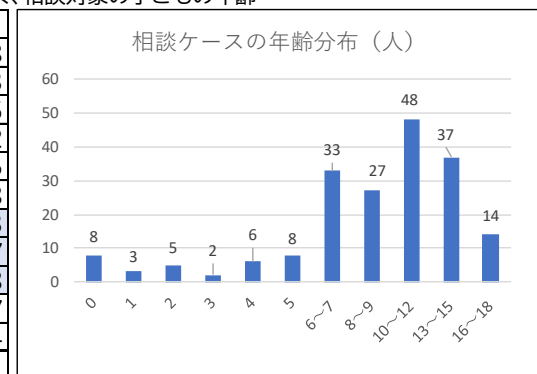
内容 \ 年度	R1	R2	R3	R4	R5
保健相談	1	3	3	0	0
障がい	肢体不自由	0	0	0	0
	視聴覚	0	0	0	0
	言語発達	0	0	0	0
	重症心身	1	0	0	0
	知的	12	0	1	0
	発達	0	0	5	1
非行	ぐ犯	1	0	0	0
	触法	0	0	0	0
育成	性格行動	3	8	21	17
	不登校	9	5	10	7
	適性相談	0	1	1	1
	育児・しつけ	0	25	33	66
上記分類外の相談	69	39	60	121	90
合計	96	81	134	213	191

・用語説明

ぐ犯	法を犯すおそれのある行為(家出、浮浪、乱暴、不良交友、金品持ち出し、性的逸脱等)
触法	法(犯罪)に触れる行為(障害、暴行、万引き、自転車盗、バイク盗等)
性格行動	犯行、遊べない、落ち着きがない、家庭内暴力、緘黙
適正相談	進学、職業、学業不振。

・令和5年度子ども相談年齢別分布 ※相談者自身の年齢ではなく、相談対象の子どもの年齢

分類	年齢(歳)	人数(人)
未就学	0	8
	1	3
	2	5
	3	2
	4	6
	5	8
小学生	6~7	33
	8~9	27
	10~12	48
中学生	13~15	37
高校生 他	16~18	14
統計	0~18	191



11. ソーシャルキャピタル

○この地域で子育てしたいと思う親の割合

	R1			R2			R3			R4			R5		
健診名	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳
そう思う	221	212	248	266	270	270	244	263	298	211	222	251	183	227	251
どちらかと言えばそう思う	69	84	87	71	76	73	69	70	85	86	85	91	66	89	70
どちらかと言えばそう思わない	8	9	6	9	10	5	12	4	10	16	9	8	6	10	6
そう思わない	7	3	0	1	3	4	2	3	4	2	2	2	2	3	1
未記入	85	54	8	75	45	9	64	39	2	44	37	4	32	33	3
この地域で子育てしたいと思う割合(%)	74.4	81.8	96.0	79.9	85.6	95.0	80.1	87.9	96.0	82.7	86.5	96.1	86.2	87.3	97.0

○ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合

	R1			R2			R3			R4			R5		
健診名	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳	4か月	1.6歳児	3歳
はい	267	241	274	302	307	281	304	282	307	282	262	269	225	269	256
いいえ	1	13	18	4	9	5	3	15	11	1	16	10	2	14	15
何とも言えない	37	57	52	44	45	66	21	45	77	32	38	74	31	48	57
未記載	85	51	5	72	43	9	63	37	4	44	39	3	31	31	3
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合(%)	68.5	66.6	78.5	71.6	76.0	77.8	77.7	74.4	76.9	78.6	73.8	75.6	77.9	74.3	77.3

○親子遊びの場

施設名	内容	箇所数
子育て支援センター	未就学児の子どもと親の子育て支援拠点	1
親子遊びの場	乳幼児とその親がより豊かに暮らすことができるよう、気軽に出かけることができ、親子同士で交流することができる自由に開放的な場所	2
ほっとスペース	子育てについておしゃべりしたり、子どもと一緒にのんびりしたり、ほっとするひとときを過ごせる施設	5

12. 父親支援

○プレパパママミーティング 主催:子育て支援課

子育て支援課では妊婦、夫(パートナー)を対象にした、子育てでの具体的な取組みや知識等を学ぶ教室を実施しています。赤ちゃんの沐浴の仕方、泣きの対応等の内容の回は、父親が気軽に参加できるよう土曜日開催にしています。

令和元年度は母親両親教室の1～4日目と土曜コース、令和2年度～令和4年度は食事・沐浴クラス、体操クラス、土曜クラス3コース4回分の合計人数です(令和2年度はコロナ禍のため1回中止)。令和5年度はFirst StepとSecond Step2コース4回分の合計人数です。

	R1	R2	R3	R4	R5
父親の参加人数	65	20	31	55	40

○お父さんの日 会場:子育て支援センター

令和元年度より子育て支援センターにて毎月1回土曜日に「お父さんの日」を開始しました。令和元年度は家族で参加のスタイルでした。令和2年度は、4月から9か月間、コロナ禍のため、事業を中止しています。令和3年1月からは、毎月2回に開催数を増やし、父親と子どもだけの事業に変更しています。

令和5年度の子育て支援センター利用者(3661人)のうち、父親(419人)の占める割合は11.4%でした。

	R1	R2	R3	R4	R5
父親の参加人数	54	14	102	97	137